

～働き盛り世代から知って欲しい～ 「認知症を知るための講演会」を開催します

市 民 福 祉 部
長 寿 福 祉 課

直通 055-934-4865

認知症は一般的には高齢者に多い病気ですが、65歳未満で発症した場合「若年性認知症」とされます。若年性認知症は働き世代で発症するため、就労や経済的な面での支障が生じやすく、ご本人だけでなくご家族の生活への影響が大きくなりやすいといった特徴があります。多くの年代の方に自分事として捉えていただくと同時に、認知症に対する理解を深めていただきたいと考え企画いたしました。多くの方のご参加をお待ちしております。

■概 要

演 題：「若年性認知症の母と生きる」

講 師：岩佐まりさん（フリーアナウンサー）

内 容： 55歳で物忘れが始まった母親が、60歳で認知症と診断され、戸惑いながらも認知症介護に向き合い、「たとえボケても母は母、大好きな母」という思いを胸に、認知症の初期症状から重度化までの長い闘病生活を支えてきた講師にご講演いただきます。

若年性認知症と診断されるまでの経緯、ご家族の想い、介護を通じて感じていることや参加者の皆さんに伝えたいメッセージ等、お話いただきます。

■開催日等

開催日：令和7年1月26日（日）

時 間：午後2時～午後3時30分
（受付は午後1時30分～）

場 所：プラサヴェルデ
3階 コンベンションホールB

主 催：沼津市長寿福祉課



■申込方法

電話または下記専用フォームで受付け中

<専用フォーム>

<https://logoform.jp/form/uBGd/792081>



■問合せ先

沼津市役所長寿福祉課
（基幹型地域包括支援センター）

電話：055-934-4865

メール：kikangatahoukatsu@city.numazu.lg.jp



認知症を知るための講演会

1月26日(日)

14時～15時30分

プラサヴェルデ

3階コンベンションホールB

定員200人 参加無料

若年性 認知症の 母と生きる

たとえボケても

母は母。

大好きな母。



55歳で物忘れが始まった母親が、60歳で認知症と診断され、戸惑いながらも認知症介護に向き合い「たとえボケても母は母、大好きな母」という思いを胸に、認知症の初期症状から重度化までの長い闘病生活を支えてきた、フリーアナウンサー岩佐まりさんによる講演会を行います。

認知症を
ろう



申込は12月23日(月)、
9時から専用フォーム
または電話で

講師：岩佐まりさん

大阪府出身。フリーアナウンサー。

これまでにケーブルテレビやネットチャンネルの司会を務める。55才の若さで認知症を患った母親を20年に渡って介護している。介護の日々を綴ったブログ「若年性アルツハイマーの母と生きる」は同じ介護で苦しむ方々の間で共感を呼び、月間総アクセス数300万PVを超える人気ブログとなる。2015年「若年性アルツハイマーの母と生きる」、2023年「認知症介護の話をしよう」を出版。数々のテレビ番組で特集されている。

